

保全配慮計画と緑化重点計画のあり方について

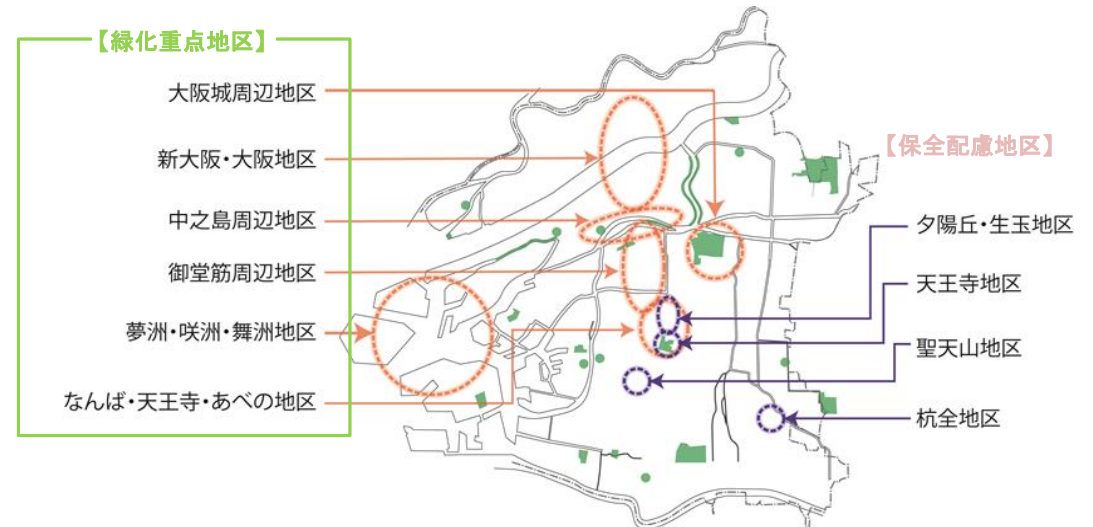
緑化重点計画【構想案】

20170227

第2回 みどりのまちづくり審議会

【緑化重点地区】

- 1 新大阪・大阪緑化重点地区
- 2 なんば・天王寺・あべの緑化重点地区
- 3 大阪城周辺緑化重点地区
- 4 御堂筋周辺緑化重点地区
- 5 中之島周辺緑化重点地区
- 6 夢洲・咲洲・舞洲緑化重点地区



緑化重点地区（第1回審議会資料 再掲）

○緑化重点地区の設定の考え方

既存ストックと民間活力を最大限に活かし、“みどりの都市魅力”を創出する地区で、かつ大阪らしいポテンシャルとストックを持つ象徴的なエリアとして、グランドデザイン・大阪において指定された地区を参考に6地区を指定

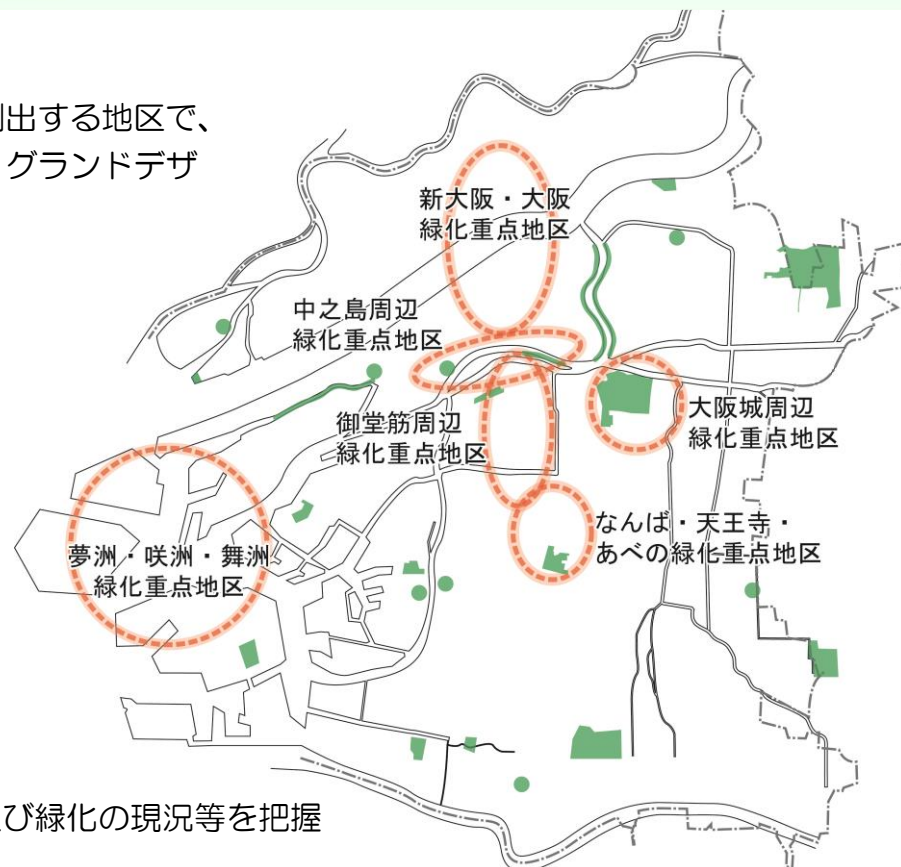
○緑化重点計画とは

みどりを通して、

- ・大阪の都市魅力の向上の観点
- ・みどりの都市イメージの構築の観点

から、緑化の推進に関する将来像を定めた

『地区毎の特性を活かした、緑化を推進するための計画』



○検討の進め方

■平成28年度

①地区の現況整理

地区における都市内での位置付けや民間の開発動向及び緑地及び緑化の現況等を把握

②地区の課題整理

地区の現況調査の結果に基づき、保全すべき緑地、緑化が必要な場所、緑化が可能な場所等の緑化を推進するための課題を整理

③地区の基本的な考え方の取りまとめ

課題に基づいて、当該地区における緑地整備及び緑化の基本的な考え方（構想）を取りまとめ

■平成29年度

④基本方針の検討

地区の基本的な考え方の基づいて、地区における緑地整備及び緑化の基本方針を策定
基本方針においては、計画のテーマなどにより地区の緑の将来像を設定

⑤緑化の進め方

基本方針を実現するために必要な緑地の整備及び緑化等の目標

検討の主な視点

【検討の主な視点】

- ☞ 美しいうるおいのあるまちなみの創出
まちの風格やイメージの向上につながるみどりづくり
- ☞ みどりあふれる都市イメージの創出
大阪の顔となる場所での効果的な緑化による、みどりの創出
- ☞ 多様な法制度の活用や新たな手法による都市緑化の仕組みづくり
民間活力を活かし、新たな手法によるみどりの創出

【計画の実現に向けた主な視点】

- ☞ 市民・事業者・行政の協働によるみどりのまちづくりの推進

《地区の特徴》

- 新大阪駅周辺は駅を中心に商業地域とその周辺の住居地域に分類される。
- 新大阪駅近辺の商業地域においては、民有地における公開空地等で一定の緑量が確保されている。

■西部(駅・商業・業務)ゾーン

①地区の現況

- 新大阪駅南側の駅前広場には、観光バス乗降所やタクシー乗り場が整備されており、交通島や余剰地を活用した緑化が行われている。
- 新大阪駅近辺の民有地の多くで、民有地緑化が確認できる。
- 新大阪駅から一定離れると、民有地の敷地面積は狭小になっている。

②課題の整理

- 駅前広場は緑化がなされているものの、視認性が悪く、大阪都心の玄関口というポテンシャルがうまく活用されていないことから、シンボルとなるみどりの創出を検討。
- 新大阪駅南部の商業地域は、新大阪駅から離れるほど公開空地等の民有地緑化が減少していく。また、高架橋沿いに緑があるものの、認識しづらことから、限られたオープンスペースの中で、既存の緑も含めた緑のあり方を検討

地区内の主な開発事業

- 都市計画道路 歌島豊里線整備
- 阪急京都線・千里線連続立体交差事業
- 柴島浄水場(開発予定)



■東部(住宅)ゾーン

①地区の現況

- まとまった緑として柴島浄水場や崇禅寺があり、また淀川が隣接する。さらには一定規模の公園が点在している。
- 東淀川区西部地域では、「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会」を設置し、多様な連携を図りながら、地域主体でまちづくり構想をまとめている。
- 柴島浄水場上系では、将来的なダウンサイジングに向けた検討が行われている。

②課題の整理

- 中心部は戸建て住宅が多く、まとまった緑化可能なスペースが少なく、また、道路幅員も狭く街路樹を植栽する余地がないため、限られたオープンスペースの中で、既存の緑も含めた緑のあり方を検討
- 連続立体交差事業により、鉄道が高架化されるため、柴島浄水場等の鉄道沿いの緑が認識しづらくなることから、車窓からの景観に配慮した緑化の方法を検討
- 柴島浄水場のダウンサイジングを見極めた対応が必要

《凡例》

対象範囲	主な公園・緑地
ゾーニング	主な神社・歴史的資源
(特性に合わせた地区分類)	文教施設・その他公共施設
特化したゾーン	軸状の緑
計画・開発地	主要幹線道路
	計画路線・鉄道

《地区の特徴》

- 北西側には湊町再開発により整備をされたOCAT、業務・住宅施設等があり、東側は南海難波駅やなんばパークスを中心に市内でも有数のターミナルとして機能している。
- ターミナル周辺は高密度な土地利用となっているが、御堂筋の街路樹やなんばパークスの建造物緑化により一定の緑量空間が確保されている。

■賑わいゾーン

①地区の現況

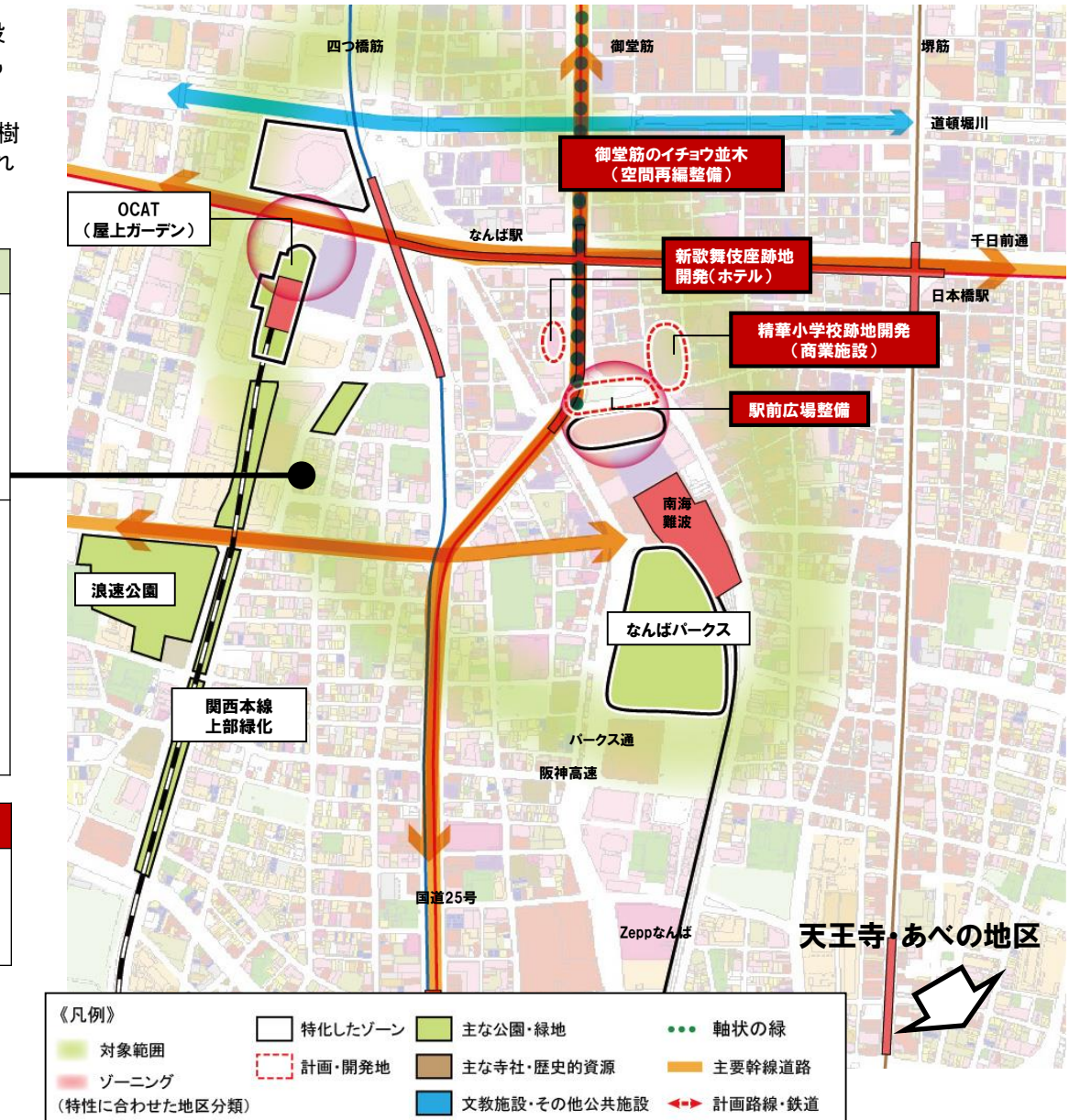
- 「緑との共存」をテーマとしたなんばパークスや、西側のパークス通の街路樹の緑により、まとまった緑を形成している。
- 湊町地区では、OCATの屋上緑化や湊町リバープレイスの人工地盤上で緑化されている。

②課題の整理

- 地区の顔となる南海難波駅前の駅前広場は、低木を中心とした緑化が施され、高木が少ないことからまとまった緑として認識しにくくなっていることから、シンボルとなるみどりの創出を検討。
- 御堂筋やなんばパークス等の既存のポテンシャルをネットワークするみどりのまちづくりを検討(駅前広場を拠点としたみどりのまちづくり)

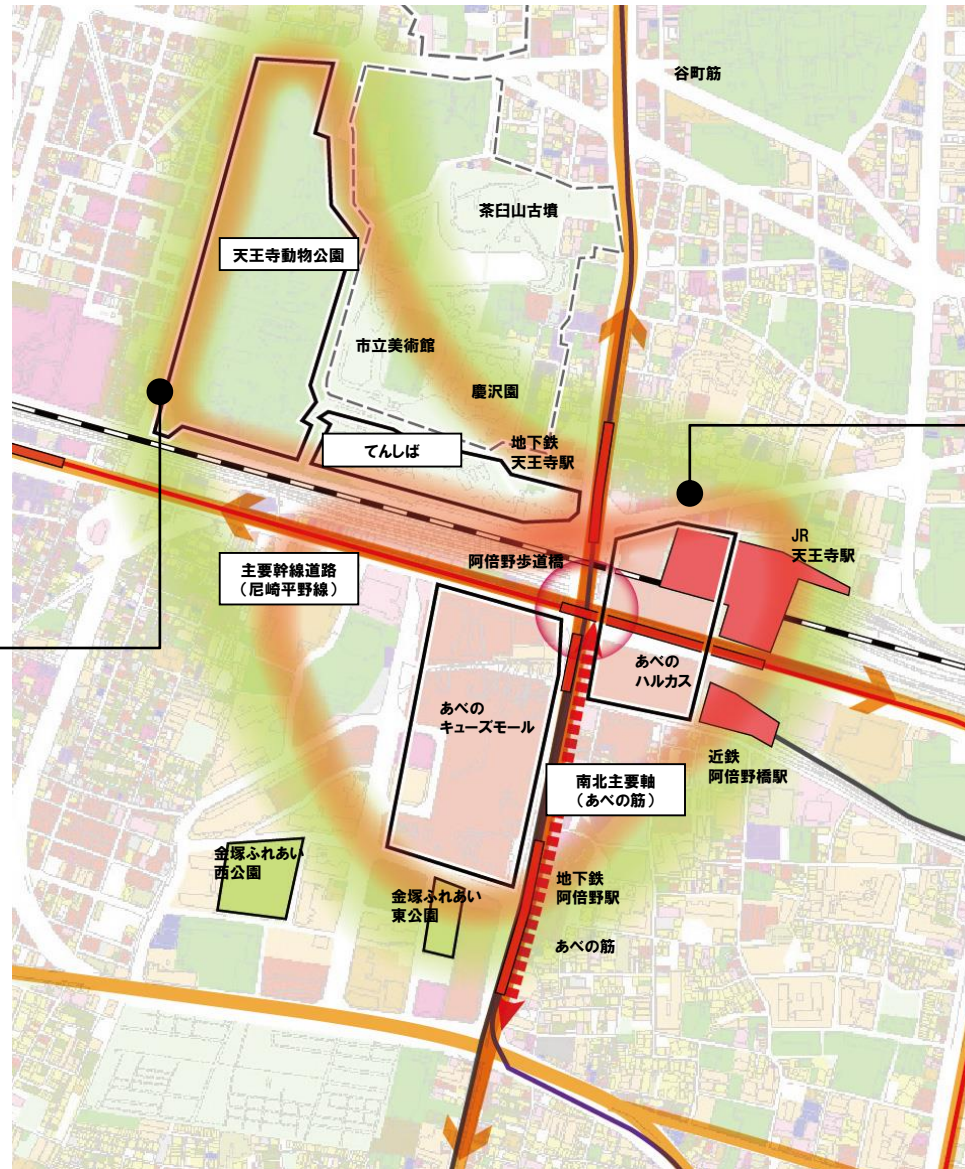
地区内の主な開発事業

- 御堂筋の道路空間再編(モデル整備)
- 新歌舞伎座跡地開発((仮称)ホテルロイヤルクラシック大阪)
- 精華小学校跡地開発((仮称)中央区難波3丁目新築工事)
- なんば駅周辺道路空間の再編



《地区の特徴》

- 天王寺駅の周辺は、阿倍野筋沿いは商業地域、その周辺は住居地域が立地している。
- あべのキューズモールをはじめとした阿倍野再開発事業により、公園が整備され、また民有地の再開発により、みどり豊かな空間が確保されている。
- 阪堺電車上町線の軌道敷の緑化等により阿倍野筋や谷町筋では一定の緑量があるが、尼崎平野線では緑量が不足している。



■集客観光ゾーン

①地区の現況

- 天王寺公園内には、天王寺動物園やてんしば等の集客施設が立地している。

②課題の整理

- 公園・民間事業者との連携により、貴重かつ魅力的な緑環境の維持・向上させるとともに周知活動の推進の検討

地区内の主な開発事業

- あべの筋の魅力ある街づくり(軌道緑化等)に関する事業

■中心(商業)ゾーン

①地区の現況

- 地区中心を南北に縦断するあべの筋では、軌道緑化(芝生の敷設)により新たな緑化空間が創出されている。
- あべのハルカス等の商業施設では、屋上緑化や壁面緑化が施されている。

②課題の整理

- 阿倍野歩道橋を視点場とした場合、東西の幹線道路(尼崎平野線)には、CCBoxが整備され、街路樹の植栽が出来ず緑を認識にくいことから、緑化の工夫を検討。
- 南北主要軸を中心としたみどりのまちづくりの推進(あべの筋の軌道緑化等)を検討
- 商業地としてのポテンシャルを活かした緑化のあり方を検討

《凡例》

	対象範囲		主な公園・緑地
	ゾーニング (特性に合わせた地区分類)		主な神社・歴史的資源
	特化したゾーン		文教施設・その他公共施設
	計画・開発地		軸状の緑
			主要幹線道路
			計画路線・鉄道

《地区の特徴》

- OBP一帯は商業地域、中央大通以南は住居地域が立地している。
- 今後、難波宮跡の整備や大手前地区、大阪城東部地区において開発が計画されている。

■歴史文化・集客ゾーン

①地区の現況

- 大阪城公園、難波宮跡公園は市内でも緑豊かな空間を形成している。
- 観光拠点である大阪城天守閣には、多くの観光客が訪れている。
- 大阪城公園は、パークマネジメントにより民間事業者による管理が行われている。

②課題の整理

- 大阪城公園の魅力向上のため、周辺街路樹も含めた樹木の適正な維持管理水準を検討
- 大阪城公園のみどりが感じられる拠点(出入口)における緑化の推進を検討
- 難波宮公園における新たなみどりの創出

地区内の主な開発事業

- 大手前地区庁舎周辺整備事業
- 難波宮跡整備計画
- 大阪城東部地区(開発予定)

《凡例》

- 対象範囲
- ゾーニング
(特性に合わせた地区分類)
- 特化したゾーン
- 計画・開発地
- 主な公園・緑地
- 主な寺社・歴史的資源
- 文教施設・その他公共施設
- 軸状の緑
- 主要幹線道路
- 計画路線・鉄道

■OBP(大阪ビジネスパーク)ゾーン

①地区の現況

- 面的に開発された地区で、公開空地や建物外構部等に多くの緑が見られる。
- 寝屋川と第二寝屋川に挟まれており、川沿いに緑の軸が形成されている。
- 地区協議会により、環境共生等のエリアマネジメント活動の推進力強化に取り組んでいる。

②課題の整理

- 官民連携し、既存の緑の維持管理水準を検討
- 大阪城公園と連携した緑景観の維持を検討

■東部ゾーン

①地区の現況

- 集合住宅や医療施設の外構部には、まとまった緑が見られる。
- 南側の越中公園及び城南公園は、桜の名所となっている。
- 森之宮工場跡地を中心とした大阪城東部地区開発が予定されている。

②課題の整理

- 大阪城東部地区の開発計画と整合がとれた計画を検討

